

アジレントの社会貢献活動

科学技術の振興と
健全な生活環境への
貢献を目指して

科学技術の振興と 健全な生活環境への貢献を目指して

アジレントは、科学技術に立脚した企業として、その進歩の恩恵と、数多くの人々の信頼と支援により、今日では最先端技術をリードする企業に成長することができました。今日私たちが持つ技術や人的資源などの有形・無形の資産は、社会の成長とともに育まれてきたものです。これらの資産を活用して、社会の抱える問題の解決に少しでも貢献していくことはアジレントの社会に対する責任だと考えています。

基本方針

- 会社が所有する有形・無形の資産を有効活用
- 従業員と一体化した活動
- 社会が抱える課題に対しての積極的・自主的な活動
- 会社の社会的価値の向上

従業員と会社が一体となった社会貢献活動を目指して

アジレントは、事業展開している各地域において、経済的、技術的、社会的な資産となり、お客様、従業員、株主、取引業者・パートナーや社会など、すべてのステークホルダー（アジレントをとりまく関係者）から信頼される会社でありたいと願っています。そのために、技術や人材、製品など、当社が有する資産を有効活用し、社会が抱える課題に積極的に取組み、社会との共生を図っていくことが、当社が果たすべき責任だと考えています。また、従業員一人ひとりも、そ

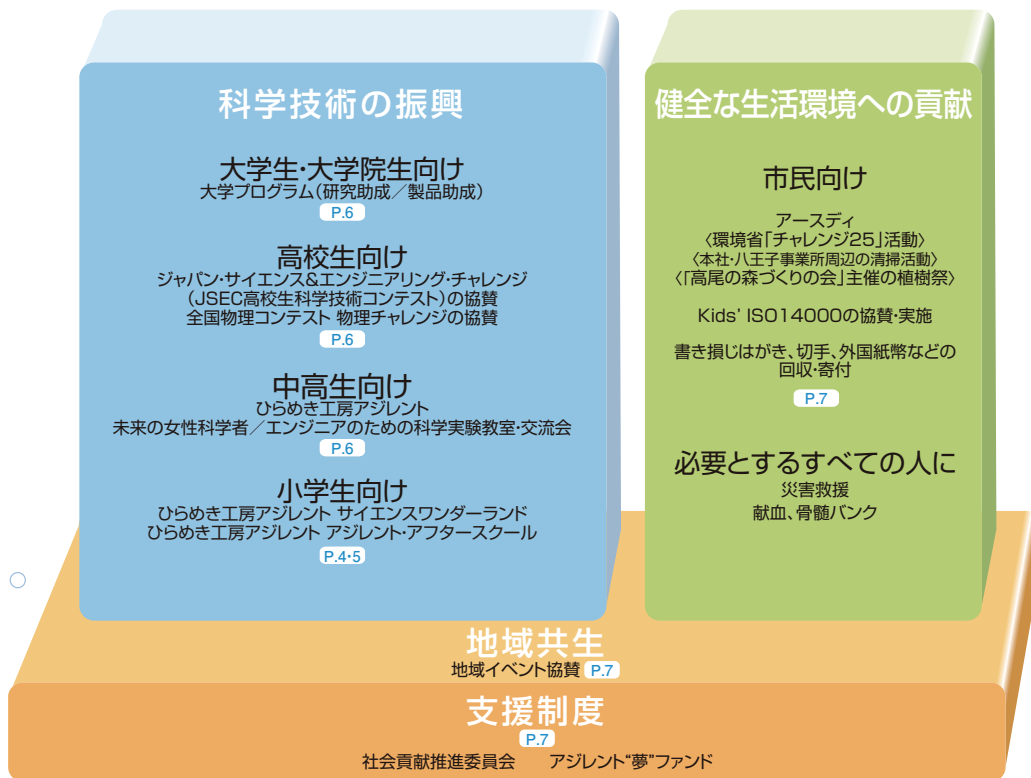
れぞれの立場や環境に応じての社会参加を常に心がけて欲しいと思っています。このような考えに基づき、当社では、「科学技術の振興と健全な生活環境への貢献」を重点分野として、多くの従業員の支援と参画による社会貢献活動を積極的に展開するとともに、従業員の社会参加を促進するための支援制度の整備も行っていました。会社と従業員が一体となって、社会の持続的な発展に貢献できる企業を目指してまいります。



代表取締役社長
梅島 正明

アジレントの社会貢献活動

アジレントは多岐にわたる社会貢献活動を展開しています。例えば、アジレントの事業分野と関わりの深い科学教育や科学技術振興への貢献、市民社会や地域社会とアジレントの良好な関係構築、さらには健全な生活環境への貢献などが含まれます。よき企業市民として、積極的な活動を推進してまいります。



科学技術の振興・健全な生活環境への貢献

アジレントは、科学技術の振興と健全な生活環境に貢献する活動を広く行っています。特にこどもの理数系離れに対し、従業員ボランティアや非営利団体と一体となって、科学のおもしろさ、科学する心の大切さを伝える活動を行い、未来の科学者やエンジニアの育成に努めています。

小学生向け

ひらめき工房アジレント サイエンス ワンダーランド (こども科学実験教室)

八王子と神戸で、科学の不思議を体験

こどもの理科離れが叫ばれるなか、科学のおもしろさや驚きを体験してもらう実験教室を科学実験教室の運営で実績がある任意団体「オンライン自然科学教育ネットワーク(ONSEN)」と協力しながら、アジレントの八王子と神戸の2会場で毎年実施しています。アジレントの従業員ボランティアも積極的に参加しながら、こどもたちに科学の不思議な世界の体験や実際のものづくりへの挑戦を通じて、科学する心の大切さを伝えています。



■プログラム例 (2010年度)

“波をつかまえる” —実験・工作で楽しむ科学の世界—

【第1部】おもしろ科学実験ショー「音でおとつと」
—ストロー笛で遊ぼう—
ストローで楽器を作ってみなで演奏するおもしろ科学実験ショー

【第2部】小型水槽の工作・実験
—波はどうして出来るのだろう? 恐ろしい津波の秘密は?—
波や津波の仕組みを解明するため、波を作り出す小型水槽の工作・実験教室

累計実施回数 **86回**
(2000年度~2010年度累計)

累計参加人数 **4,155名**
(2000年度~2010年度累計)



考えるって面白い「興奮!ときめき!球のレース」(2007年、八王子)



おもしろ科学実験ショー「音でおとつと」—ストロー笛で遊ぼう—



灯りって美しい「情熱!感動!エジソン電球」(2007年、八王子)



小型水槽の工作・実験
—波はどうして出来るのだろう? 恐ろしい津波の秘密は?—



ひらめき工房アジレント

アジレントでは科学技術の振興や健全な生活環境に貢献する活動を行っています。その中心となる活動は、こどもたちの科学や技術への関心・興味を高めるための実験教室や助成プログラムです。科学のすばらしさや驚きをこどもたちに伝え、こどもたちの豊かな発想をさらに高めていきたいとの思いから、「ひらめき工房アジレント」と名づけています。

「わあ動いたよ!」実験と工作を通じて科学に親しむ

アジレントが提供する22種類のキットを使って、こどものものづくりへの興味、思考力、発想力を高めることを目的とした実験教室です。学校、地域イベント、ボーイ／ガールスカウトなど、さまざまな場所でアジレントの従業員や元従業員がボランティアとして講師を務めます。実験キットには、地球環境を汚さない太陽の光で走る車を作りながら、車の基本的な構造や仕組みを学ぶ「ソーラーカー」や、ふくろうのペリットの内容物を観察し 生態系を学ぶ「ふくろうのペリット」などがあります。

小学生向け

ひらめき工房アジレント
アジレント
アフタースクール

■開催実績(一部、2011年)

ぽんぽこ こども科学実験教室

【エリア】東京都八王子市

開催日時	実験キット
1/22(土)	カタリンバ
4/23(土)	カタバルト
5/21(土)	日時計
7/23(土)	油圧クレーン
9/24(土)	ナイトアンドデイ

その他 東京都多摩市、町田市、小平市、兵庫県神戸市、愛知県東海市、京都府京都市、滋賀県などでも開催しています。

2011年度の参加人数 **2,474名**

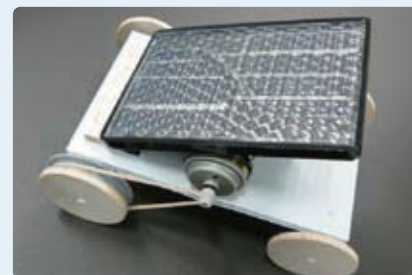
累計参加人数 **37,139名**
(2001年度～2011年度累計)



実験キット「ニュートンのロケットカー」



実験キット「バスカルのクレーン」



実験キット「ソーラーカー」



東京都八王子市(ナイトアンドデイの実験教室)



実験キット「測候所」



科学技術の振興・健全な生活環境への貢献

中高生向け

ひらめき工房アジレント 未来の女性科学者／エンジニアのための科学実験教室・交流会

National Engineers Weekにあわせ、女子中学生・高校生を対象にアジレントの女性エンジニアが講師を務める「未来の女性科学者／エンジニアのための科学実験教室交流会」を2005年から毎年開催

しています。科学実験教室ではゲルマニウムラジオの製作や化学分析を実際に行うなどして、放送・通信や化学分析の原理を理解できるよう工夫しています。実験教室後の交流会では、先輩エンジニアと女

子中学生・高校生が、昼食をとりながら意見交換をする場を設けています。長期的には将来の日本の女性科学者・エンジニアの育成に役立つことを期待しています。



高校生向け

「ジャパン・サイエンス&エンジニアリング・チャレンジ(JSEC)」や「全国物理コンテスト 物理チャレンジ」、 「ティーチャーズ・サイエンス・キャンプ」への協賛

高校生および高等専門学校生を対象とした全国規模の科学技術コンテスト「ジャパン・サイエンス&エンジニアリング・チャレンジ(JSEC)」(朝日新聞社主催)の立ち上げ段階から関与、2003年の第1回から協賛し、科学体験や研究発表の機会を提供しています。毎年「アジレント・テクノ

ロジー賞」を提供し、米国で開催される国際科学エンジニアリングフェア(ISEF)への日本代表の派遣、さらに2007年度からは、国際物理オリンピック(IPhO)の日本代表選考を兼ねる「全国物理コンテスト 物理チャレンジ」にも協賛し、国際的な科学者の育成に協力しています。



大学生・大学院生向け

大学教育や研究の分野で人材育成や技術向上に貢献すべく、寄付、寄贈、共同研究などを実施しています。特に通信や半導体分野、ライフサイエンスや化学分析の分野における産学協同に積極的に取り組んでいます。

助成件数 **35**件
(2000年度～2010年度累計)

大学プログラム 研究助成

アジレントが持つ専門技術との組み合わせにより、より高い成果が期待される研究分野への重点的な支援を行います。産学連携による学術研究の推進や人材育成など科学技術の振興を目的とし、委託研究や共同研究の推進のために資金や製品を助成しています。

大学プログラム 製品助成

大学における学生の教育レベル向上や研究推進に必要となる計測器などの自社製品を、大学関係者に寄贈するプログラムです。科学技術分野の人材育成と技術の振興に寄与する社会貢献活動の一環として、世界規模で実施しています。

地域共生・支援制度

アジレントは、社会や地域の一員としてさまざまな活動を展開しています。科学教育の改善や健康・福祉のニーズに応える活動を行なっている市民団体や非営利団体の支援、地域との共生のためのコミュニケーション活動、さらには従業員のボランティアや社会貢献をバックアップする体制など、その活動は多彩です。

地域共生

地域イベント協賛

アジレントは地域社会の一員として各種イベントに積極的に協賛し、地域社会の発展や活性化に貢献しています。従業員ボランティアによる理科授業の支援、障害者の活動支援や更正・養護施設への寄付、近隣小学校へのニュース掲示板の設置などの様々な活動を継続し、2007年度からは「八王子市子育て応援企業」として登録されるようになりました。また、「高尾の森づくりの会」が4月に実施している植樹祭へは、毎年、十数名の従業員が参加しています。



支援制度

アジレント“夢”ファンド

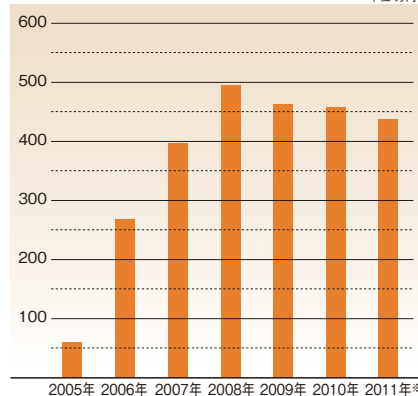
非営利団体を通じた市民活動支援と従業員のボランティア意識向上のために、従業員からの寄付金総額と同額をアジレントが加えて寄付を行う「アジレント“夢”ファンド」を実施しています。アジレント“夢”ファンドの参加方法の一つとして、給与や賞与からの控除により、自動的に寄付を行うことができる制度も導入しています。歳末たすけあい募金や大規模災害援助のための募金にも、会社から同額を

上乗せして寄付を行っています。アジレント“夢”ファンドによる寄付総額は、年間400万円にのぼります。

■アジレント“夢”ファンドの寄付先

- 〈福祉〉
中央共同募金会、兵庫共同募金会
東京共同募金会、日本盲導犬協会
- 〈医療〉
ピープルズホープ・ジャパン
- 〈青少年育成〉
日本ユニセフ協会
- 〈自然環境〉
日本自然保護協会

■アジレント“夢”ファンドの寄付総額 単位:万円



※2011年の給与控除による寄付は従業員からの申し込みデータをもとに算出したものです。実際の寄付額は変動する可能性があります。

アジレントの社会貢献関連の表彰歴

表彰年	内容
2007年	八王子市「子育て応援企業」として認定授与
2004年	朝日新聞社 第1回「企業市民賞」受賞
2002年	特定非営利活動法人 パートナーシップ・サポートセンター「パートナーシップ賞」受賞
財団法人朝日新聞文化財団「有力企業の社会貢献度」ランキング	
2003年度	総合15位、フェアな職場11位、国際化12位、企業倫理24位
2002年度	総合16位、フェアな職場9位、国際化8位、情報開示30位
2001年度	「ファミリー重視部門」トップ10社に選定

企業の社会的責任についてのアジレントの取り組みは、ウェブサイトでもご覧いただけます。

<http://www.agilent.co.jp/newsjp/csr>

アジレント・テクノロジー株式会社
www.agilent.co.jp

掲載されている情報は、予告なく変更される場合があります。
Published in Japan, April 30, 2012

© Agilent Technologies, Inc. 2011
5989-8013JAJP



Agilent Technologies